

教育警察常任委員会

所管事項概要説明

- 1 平成30年三重県警察運営の重点目標について
 - ・ **資料1** 三重県警察の組織 1頁
 - ・ **資料2** 平成30年三重県警察運営の重点目標 2頁

- 2 平成30年度警察費当初予算及び主要事業について
 - ・ **資料3** 平成30年度警察費当初予算及び主要事業 3頁

- 3 犯罪情勢について
 - ・ **資料4** 犯罪情勢（平成30年3月末） 6頁

- 4 総合的な犯罪抑止対策について
 - ・ **資料5** 総合的な犯罪抑止対策 7頁

- 5 地域警察活動について
 - ・ **資料6** 地域警察活動 8頁

- 6 交通事故情勢と抑止対策について
 - ・ **資料7** 交通事故情勢（平成30年3月末）と抑止対策 9頁

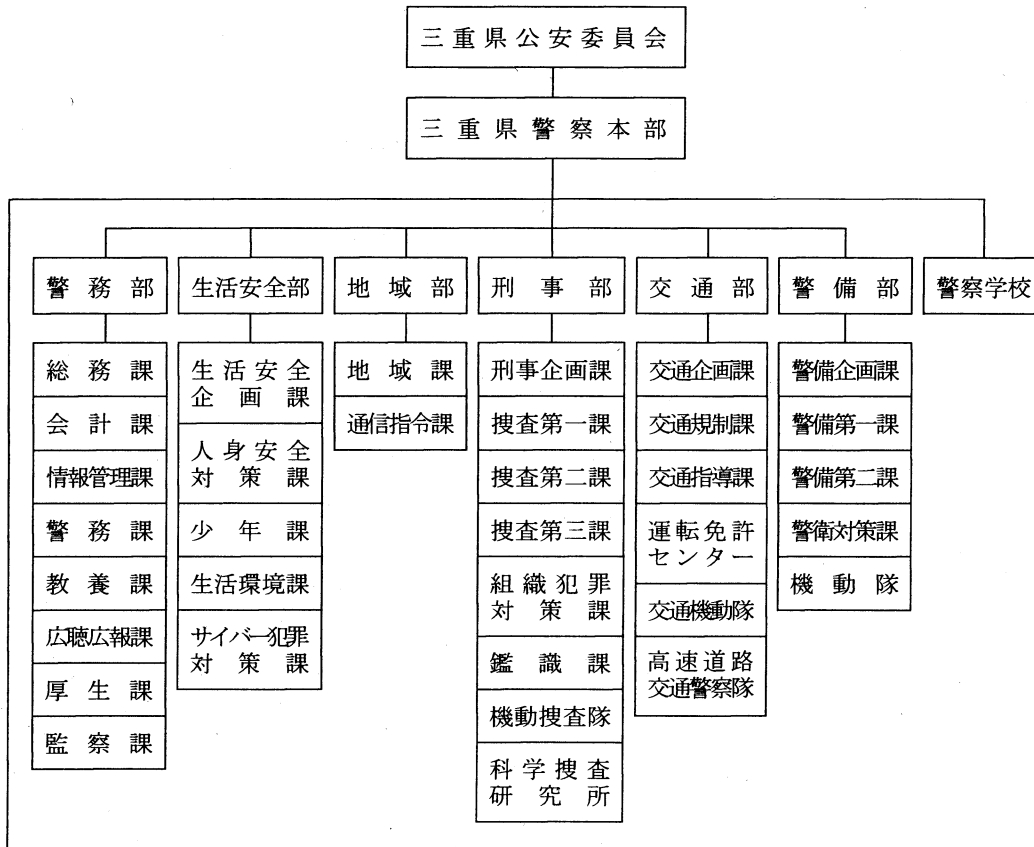
- 7 テロの未然防止と大規模災害対策の推進について
 - ・ **資料8** テロの未然防止と大規模災害対策の推進 10頁

平成30年5月

警察本部

三重県警察の組織

平成30年4月1日現在



桑名警察署	いなべ警察署	四日市北警察署	四日市南警察署	四日市西警察署	亀山警察署	鈴鹿警察署	津警察署	津南警察署	松阪警察署	大台警察署	伊勢警察署	鳥羽警察署	尾鷲警察署	熊野警察署	紀宝警察署	伊賀警察署	名張警察署
-------	--------	---------	---------	---------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

6部	34所属	1校	18警察署
			59交番 141駐在所

条例定員	警察官	3,079人
	一般職員	404人

平成30年三重県警察運営の重点目標

執務の基本方針

「県民と共に築く安全で安心な三重」の実現

～ 強く・正しく・温かく ～

執行の重点

- 子供・女性を守る取組と犯罪抑止対策の推進
- 検挙の徹底に向けた犯罪捜査の推進
- 交通死亡事故等抑止対策の推進
- サイバー空間の脅威に対する総合対策の推進
- テロの未然防止と大規模災害等緊急事態における万全な対処
- 犯罪被害者等支援の推進

「平成30年度警察費当初予算及び主要事業」

1 みえ県民カビジョン・第二次行動計画施策別予算額

【単位：千円】

事業	細事業名	H30当初(A)	H29【1号補正後】(B)	増減(A-B)
112	防災・減災対策を進める体制づくり	183,386	24,561	158,825
	11202 災害対策活動体制の充実・強化	2,413	1,938	475
	11203 迅速な対応に向けた防災情報の共有化	180,973	22,623	158,350
141	犯罪に強いまちづくり	3,529,509	4,742,623	▲ 1,213,114
	14101 みんなで進める犯罪抑止活動と犯罪被害者等支援の充実・強化	144,539	107,557	36,982
	14102 犯罪の徹底検挙のための活動強化	402,516	396,554	5,962
	14103 県民の安全を守る活動基盤の整備	2,982,454	4,238,512	▲ 1,256,058
142	交通事故ゼロ、飲酒運転0(ゼロ)をめざす安全なまちづくり	2,664,361	2,976,111	▲ 311,750
	14201 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた啓発・教育の推進	1,107,951	1,065,847	42,104
	14203 安全で快適な交通環境の整備	1,432,458	1,728,674	▲ 296,216
	14204 交通秩序の維持	123,952	181,590	▲ 57,638
行政運営7	公共事業推進の支援	1,187	804	383
	40701 公共事業の適正な執行・管理	1,187	804	383
その他(人件費等)		30,651,473	30,910,363	▲ 258,890
警察費		37,029,916	38,654,462	▲ 1,624,546

2 特定政策課題枠（社会経済情勢の変化等への対応）

事業名	平成30年度当初予算額
サイバー犯罪対処能力向上事業 (安全かつ活力あるサイバー空間づくり)	4,862千円
テロ等対策事業(テロ対策パートナーシップ)	562千円

3 主要事業

政策名、施策名及び事業の内容	担当課
<p>《政策名：防災・減災》</p> <p>〈施策名：(112)防災・減災対策を進める体制づくり〉</p> <p>1 災害警備対策事業 2,413千円</p> <p style="text-align:center">【基本事業名：11202 災害対策活動体制の充実・強化】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)</p> <p>大規模災害発生時における各種警察活動を迅速かつ的確に実施するために、必要な資機材等を整備します。</p>	警備第二課
<p>《政策名：暮らしの安全を守る》</p> <p>〈施策名：(141)犯罪に強いまちづくり〉</p> <p>1 (一部新)サイバー犯罪対処能力向上事業 7,311千円</p> <p style="text-align:center">【基本事業名：14101 みんなで進める犯罪抑止活動と 犯罪被害者等支援の充実・強化】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)</p> <p>サイバー空間の脅威から県民を守り、安全かつ活力あるサイバー空間を実現するため、産学官連携の枠組みとして発足した三重サイバーセキュリティ・アイザック (M i e C S - I S A C) の機能強化を図るとともに、新たに仮想サイバー演習空間を整備します。</p> <p>2 (一部新)テロ等対策事業 57,304千円</p> <p style="text-align:center">【基本事業名：14101 みんなで進める犯罪抑止活動と 犯罪被害者等支援の充実・強化】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)</p> <p>テロ対策パートナーシップを中核とした官民一体の取組を推進するとともに、「サイバーテロ対策部会」の活動を活発化させ、サイバーテロ対処能力の向上を図ることで県民の安全・安心につなげます。</p> <p>また、平成30年度全国高等学校総合体育大会の開催に伴う警備諸対策を推進します。</p>	サイバー犯罪対策課 警備企画課 警衛対策課

政策名、施策名及び事業の内容	担当課
<p>3 警察署庁舎整備事業 410,266千円</p> <p style="text-align: center;">【基本事業名：14103 県民の安全を守る活動基盤の整備】</p> <p>(第9款 警察費 第1項 警察管理費 4 警察施設費)</p> <p>警察を取り巻く環境変化に対応できる警察署庁舎整備に取り組むもので、移転建て替え整備を進めている四日市北警察署の附属棟建築工事等を実施します。</p>	<p>会計課</p>
<p>〈施策名：(142)交通事故ゼロ、飲酒運転0(ゼロ)をめざす安全なまちづくり〉</p> <p>1 交通安全県民力向上事業 4,076千円</p> <p style="text-align: center;">【基本事業名：14201 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた啓発・教育の推進】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 3 交通指導取締費)</p> <p>関係機関・団体等と連携した参加・体験・実践型の交通安全教育及び広報啓発活動を推進し、交通事故抑止の原動力となる、交通安全に対する県民力を一層高めます。</p> <p>2 交通安全施設整備事業 732,198千円</p> <p style="text-align: center;">【基本事業名：14203 安全で快適な交通環境の整備】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 4 交通安全施設整備費)</p> <p>老朽化した信号制御機や摩耗した横断歩道等の道路標示について、緊急性や優先度を勘案しながら、計画的な更新・塗り替えを推進します。</p> <p>3 地域交通安全活動推進事業 1,464千円</p> <p style="text-align: center;">【基本事業名：14204 交通秩序の維持】</p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 3 交通指導取締費)</p> <p>交通安全諸活動のリーダーとして活躍する「地域交通安全活動推進委員」の活動を促進し、地域における交通モラルの向上を図ります。</p>	<p>交通企画課</p> <p>交通規制課</p> <p>交通企画課</p>

犯罪情勢（平成30年3月末）

1 刑法犯及び重要犯罪・重要窃盗犯

(1) 刑法犯

認知件数は減少傾向を維持し、平成29年は平成以降最少を更新。検挙件数・検挙率は、余罪多数の窃盗事件を検挙したことにより、平成29年及び平成30年3月末では、大幅に向上。

	H25	H26	H27	H28	H29	H30.3	前年同期比
認知件数(件)	19,726	17,550	15,178	14,112	13,346	2,604	-546
検挙件数(件)	6,048	5,395	4,865	4,557	5,717	1,704	+409
検挙人員(人)	2,448	2,447	2,278	2,159	2,193	519	+4
検挙率(%)	30.7	30.7	32.1	32.3	42.8	65.4	+24.3P

(2) 重要犯罪（殺人、強盗、強姦性交等、強制わいせつ、放火、略取誘拐及び人身売買）

認知件数は減少傾向、検挙件数・検挙人員は横ばい状態、検挙率は上昇傾向である。

	H25	H26	H27	H28	H29	H30.3	前年同期比
認知件数(件)	131	115	91	98	85	13	-11
検挙件数(件)	80	86	74	95	80	22	+1
検挙人員(人)	58	90	60	64	59	8	-7
検挙率(%)	61.1	74.8	81.3	96.9	94.1	169.2	+81.7P

(3) 重要窃盗犯（侵入盗、自動車盗、ひったくり及びすり）

認知件数はピーク時(平成15年6,664件)の約4分の1まで減少し、検挙率は上昇傾向である。

	H25	H26	H27	H28	H29	H30.3	前年同期比
認知件数(件)	2,687	2,342	2,085	1,947	1,681	331	-105
検挙件数(件)	1,308	1,381	1,287	1,068	1,412	363	+42
検挙人員(人)	199	174	130	146	111	23	-2
検挙率(%)	48.7	59.0	61.7	54.9	84.0	109.7	+36.1P

2 特殊詐欺

認知件数は増加傾向、被害額は減少傾向で、検挙件数・人員は横ばい状態である。

	H25	H26	H27	H28	H29	H30.3	前年同期比
認知件数(件)	107	103	126	164	205	26	-17
被害額(万円)	57,880	63,140	59,280	51,960	30,550	4,550	-2,840
検挙件数(件)	34	27	32	18	29	17	+13
検挙人員(人)	14	10	15	17	14	6	+4

3 暴力団犯罪

暴力団勢力は5年前の約半数まで減少し、検挙人員は減少傾向である。

	H25	H26	H27	H28	H29	H30.3	前年同期比
暴力団勢力(人)	770	700	650	460	410	-	-
検挙件数(件)	287	440	576	225	673	157	+63
検挙人員(人)	181	182	167	151	140	26	-3

4 薬物事犯

検挙人員は減少傾向。検挙人員の約3割が暴力団構成員等、約8割が覚醒剤事犯である。

	H25	H26	H27	H28	H29	H30.3	前年同期比
検挙人員(人)	145	155	143	129	117	21	-3
うち暴力団	56	64	54	47	38	5	-1
覚醒剤	133	140	128	106	99	17	-1
うち暴力団	53	62	52	42	37	5	-1
その他	12	15	15	23	18	4	-2
うち暴力団	3	2	2	5	1	0	±0

5 来日外国人犯罪

検挙件数・人員は減少傾向で、国籍別検挙人員では、中国、ベトナム、ブラジルが上位を占める。

	H25	H26	H27	H28	H29	H30.3	前年同期比
検挙件数(件)	332	317	358	173	193	31	+16
検挙人員(人)	128	126	108	84	99	21	+8

総合的な犯罪抑止対策

1 地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止対策の推進

- 犯罪発生実態の多角的な分析とその結果を踏まえた犯罪抑止計画の策定、同計画に基づく戦略的な犯罪抑止対策の推進
- 犯罪多発地域・時間帯における警ら、駐留警戒など街頭活動の強化
- 地域住民等への的確な犯罪情報・地域安全情報の提供

〈重点犯罪の認知状況〉

年次	区分									
	空き巣	忍込み	自動車盗	車上ねらい	部品ねらい	強わいせつ制	オートバイ盗	自転車盗	万引き	特殊詐欺
H25年	838	216	550	1,616	937	66	888	3,810	1,547	107
H26年	615	262	425	1,336	569	54	662	3,450	1,755	103
H27年	660	265	288	1,089	525	43	451	2,812	1,662	126
H28年	473	260	370	926	644	48	326	2,449	1,599	164
H29年	406	255	227	975	608	36	252	2,159	1,883	205
3月末	109	51	68	284	177	11	46	418	408	43
H30年3月末	95	34	34	133	120	5	38	416	394	26
前年同期比	-14	-17	-34	-151	-57	-6	-8	-2	-14	-17

2 官民一体となった犯罪抑止対策の推進

- 防犯ボランティア活動に対する支援の充実
- 企業等による防犯CSR活動の促進

注：CSRは、Corporate Social Responsibilityの略で、一般に企業の社会的責任と訳され、法令遵守、環境保護、地域貢献等、純粋に財務的な活動以外の分野において、企業が持続的な発展を目的として行う自主的取組をいう。

- 街頭防犯カメラ等の犯罪抑止インフラの整備促進

〈防犯ボランティア団体の結成状況〉

年次	区分											前年同期比	
	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	3月末		H30年3月末
団体数	485	528	569	574	582	590	609	610	629	646	630	653	23
活動人員	30,073	32,475	34,199	34,254	35,113	35,128	35,353	36,330	36,559	36,540	36,557	36,648	91

注：防犯ボランティア団体…平均月1回以上の活動実績があり、かつ、構成員が5人以上の団体

3 子供・女性を犯罪等から守る対策の推進

- 通学路や登下校時間帯等に重点を置いた見守り・パトロール活動の強化
- 前兆事案等に対する先制・予防的活動の強化
- 参加・体験型の防犯教室、不審者侵入対応訓練の開催

〈不審者情報の認知状況〉

年次	区分								前年同期比
	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	3月末	H30年3月末		
子供	460	550	496	434	426	117	75	-42	
女性	550	658	516	513	399	82	85	3	
合計	1,010	1,208	1,012	947	825	199	160	-39	

注：子供…中学生以下の男女、女性…子供以外の女性全て

4 特殊詐欺抑止対策の推進

- 県民の警戒心・抵抗力を向上させる防犯指導・広報啓発の推進
- 被害に遭わないための環境整備の促進
- 金融機関等における水際対策の推進

〈特殊詐欺の認知状況〉

年次	区分	振り込め詐欺								振り込め詐欺以外の特殊詐欺								合計					
		オレオレ		架空請求		融資保証金		還付金等		計		金融商品等取引名目		異性交際あつせん名目		ギャンブル必勝法情報提供名目				その他		計	
		件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)
H25年		18	12,710	10	2,220	5	930	32	2,420	65	18,280	34	32,780	0	0	1	420	7	6,390	42	39,600	107	57,880
H26年		21	5,920	39	17,960	8	1,090	3	320	71	25,290	18	27,480	1	850	3	640	10	8,880	32	37,860	103	63,140
H27年		24	7,990	55	23,250	7	1,550	14	1,340	100	34,130	21	22,060	1	570	4	2,530	0	0	26	25,150	126	59,280
H28年		36	11,610	51	17,960	8	900	51	4,560	146	35,020	15	15,890	0	0	2	930	1	120	18	16,940	164	51,960
H29年		46	10,570	127	15,400	10	850	17	1,470	200	28,280	1	400	0	0	3	1,270	1	600	5	2,270	205	30,550
	3月末	10	1,350	19	3,430	4	190	6	550	39	5,520	0	0	0	0	3	1,270	1	600	4	1,870	43	7,390
H30年3月末		4	720	22	3,820	0	0	0	0	26	4,550	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	4,550
前年同期比		-6	-630	3	390	-4	-190	-6	-550	-13	-970	0	0	0	0	-3	-1,270	-1	-600	-4	-1,870	-17	-2,840

地 域 警 察 活 動

1 交番・駐在所の活動

交番、駐在所では、住民等の安全・安心を確保するため、パトロールや巡回連絡等の地域に密着した活動に加えて、事件・事故等への対応を行っている。

〈交番・駐在所等設置状況（平成30年4月1日現在）〉

	交番	駐在所
設置数	59	141

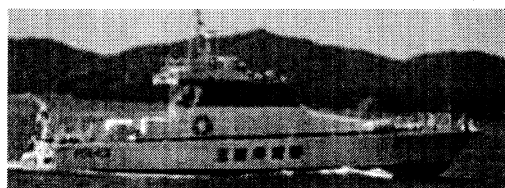
2 パトカー、警察用航空機及び警察用船舶の活用

すべての警察事象に即応するため、機動力の高いパトカー、警察用航空機及び警察用船舶を活用している。

【航空「いせ」】



【警備艇「あらしま」】



3 通信指令業務

110番通報に迅速かつ的確に対応するため、指令室を設置している。

〈110番通報有効受理件数（平成25～30年3月末）〉

区分	年次						前年同期比
	25	26	27	28	29	30.3	
有効受理件数（件）	106,547	109,156	110,560	106,862	103,244	23,967	-730
携帯電話（件）	78,092	81,858	84,717	82,869	80,113	18,832	-298
携帯電話構成比（%）	73.3	75.0	76.6	77.5	77.6	78.6	—

【指令室】



4 水難・山岳遭難発生状況

（平成25～30年3月末）

区分	年次						前年同期比
	25	26	27	28	29	30.3	
水難	発生件数	26	28	35	29	22	8
	遭難者数	27	35	36	33	28	8
山岳	発生件数	51	69	61	57	57	7
	遭難者数	86	87	80	73	76	8

【要救助者搬送訓練】



5 雑踏警備実施状況

（平成25～29年）

区分	年次	延べ出動警察官数				
		25	26	27	28	29
祭礼、花火等施設外		6,543	4,790	4,146	3,585	2,821
興行場等施設内		831	264	408	538	1,148
公営競技場等		1,587	1,655	1,967	1,383	1,548
合計		8,961	6,709	6,521	5,506	5,517

【雑踏警備】



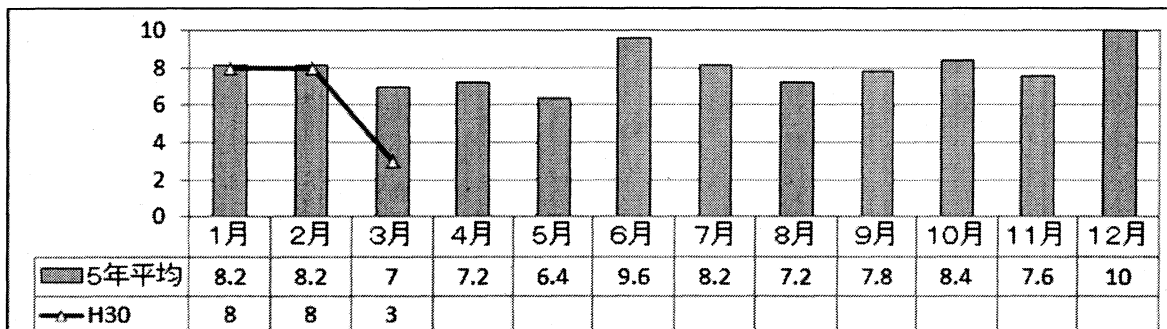
交通事故情勢（平成30年3月末）と抑止対策

1 交通事故情勢

(1) 交通事故発生状況

	H25	H26	H27	H28	H29	H30.3末	前年同期比
人身事故件数	9,804	8,100	7,169	6,038	5,441	1,248	-184
死亡事故件数	90	109	86	98	83	17	±0
死傷者数	12,979	10,829	9,604	8,258	7,199	1,700	-200
死者数	94	112	87	100	86	19	+2
負傷者数	12,885	10,717	9,517	8,158	7,113	1,681	-202

(2) 月別死者数



(3) 交通死亡事故の特徴

○高齢者が約8割を占める

	高齢者(人)	構成率(%)
H30.3末	15	78.9
過去5年平均	49.4	51.6

○交通弱者(歩中・自転車乗中)が約4割を占める

	交通弱者(人)		構成率(%)
	歩行中	自転車	
H30.3末	8	4	42.1
過去5年平均	45	32	47.0

○シートベルト非着用者が約6割を占める

	四輪死者(人)	非着用(人)	非着用率(%)
H30.3末	8	5	62.5
過去5年平均	35.6	18.2	51.1

○飲酒運転事故の発生なし

	件数	構成率(%)
H30.3末	0	0
過去5年平均	3.8	4.8

2 抑止対策

重点4Sプラスワン対策の推進

○高齢者の交通事故防止対策(Silver)

- ・参加・体験・実践型の交通安全教育の推進
- ・高齢運転者に対する個別指導

○シートベルト着用促進対策(Seatbelt)

- ・シートベルト着用義務違反の取締り強化
- ・シートベルト着用推進モデル事業所等の拡大

○飲酒運転根絶対策(Sake)

- ・飲酒運転の取締り強化
- ・ハンドルキーパー運動推進事業所・推奨店の指定

○速度抑制対策(Speed)

- ・最高速度違反の取締り強化
- ・生活道路対策「ゾーン30」の整備

○歩行者の交通事故防止対策(プラスワン)

- ・「交通安全“見える・見せる”キャンペーン」の推進
- ・「歩行者にやさしい三重づくり作戦」の推進

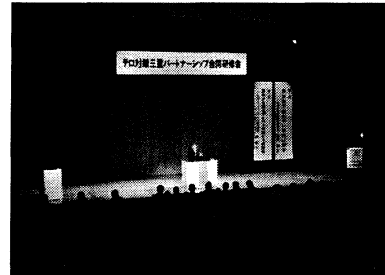
テロの未然防止と大規模災害対策の推進

1 テロの未然防止対策の推進

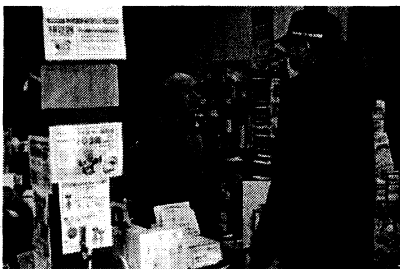
テロ対策パートナーシップを始めとする官民一体となった取組の推進



テロ対策合同訓練



テロ対策に関する研修会



不審な購入者の来店を想定した訓練



広報啓発活動の推進

2 大規模災害対策の推進

大規模災害発生時における対処能力向上のための取組の推進



警察本部における図上訓練



装備資機材の取扱習熟訓練



平成29年度広域緊急援助隊合同訓練



平成29年度三重県総合防災訓練